

建設業と地域の元気回復助成事業
第2次募集の選定結果について

～東北ブロックで7件を選定～

「建設業と地域の元気回復助成事業」は、地域の建設業団体が、保有する人材、機材、ノウハウ等を活用し、地方公共団体や農業、林業、観光、環境、福祉等の異業種団体との連携により協議会を設立して、建設業の活力の再生と地域の活性化を図ろうとする場合に、連携事業の検討や試行的実施に必要な経費を助成（1協議会当たり上限2,000万円）するものです。

第2次募集として、平成21年9月1日（火）から9月30日（水）までの間、公募を行い、所定の審査を経て、今般、別紙のとおり、7件の助成対象事業を選定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 公募期間 平成21年 9月 1日（火）～平成21年 9月30日（水）
2. 選定結果（東北ブロック）※

県名	件数
青森県	1
岩手県	1
宮城県	2
秋田県	1
山形県	0
福島県	2
合計	7

※東北ブロックにおける選定事業の一覧については、【別紙1】ご覧ください。
※東北ブロックにおける代表事例については、【別紙2】ご覧ください。

3. 審査の方法

本省に設置された有識者で構成される審査選定委員会による審査を行い、最終的に助成対象事業を決定され、審査内容は、募集要領※記載の「審査の観点」を踏まえ、以下の諸点に特に留意して実施しております。

- ・ 事業に取り組む背景や必要性
- ・ 計画（特徴、内容、スケジュール、実施体制）の妥当性
- ・ 地域の建設産業の活性化への寄与度
- ・ 地域の経済の活性化への寄与度

※募集要領については、下記URLを参照して下さい。

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b06111/kenseibup/genki_kaifuku_2ji.htm

※「建設業と地域の元気回復助成事業」の事業主旨については、【別紙3】をご覧ください。

※当発表は東北版であり、国土交通本省において、全国の「建設業と地域の元気回復助成事業第2次募集の選定結果」について記者発表しております。

<発表記者会 : 岩手・山形・福島県県政記者クラブ、青森・宮城・秋田県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

電話 022(225)2171 (代表)

建政部 計画・建設産業課

計画・建設産業課長

建設専門官

ひぐち
樋口
がしわざき
柏崎

まなぶ
学
いくお
郁夫

(内線6121)

(内線6143)

建設業と地域の元気回復助成事業 第2次募集 選定案件(7件)

都道府県名		応募事業名	協議会名	事業管理者
東北 ブ ロッ ク	1	青森県 青森県産の安全な薬草栽培による新産業創造プロジェクト	「青森薬箱プロジェクト」推進協議会	(社)青森県建設業協会
	2	岩手県 災害に強い地域づくりと林業・観光の振興に関する事業	一関地方産業活性化協議会	(社)岩手県建設業協会
	3	宮城県 地域資源を活かした登米市建設業の活力再生プロジェクト	登米市建設業活力再生協議会	(社)宮城県建設業協会
	4	宮城県 富県宮城にふさわしい日本初のノンアルコール・ブルーベリーフレーバービール開発で、ふるさとを元気にする果樹観光創出事業	富谷ブルーベリーサミット協議会	一般社団法人 宮城ふるさと建設協会
	5	秋田県 地産ソバ(かづのソバ)開発で元気回復事業	かづのソバ開発推進協議会	(社)鹿角建設業協会
	6	福島県 「くら再生」による活力ある地域創生事業	蔵再生による地域づくり推進協議会	(社)福島県建設業協会
	7	福島県 古民家等空き家を活用して地域を元気にする事業	ふくしまの家地域活性化推進協議会	(社)福島県建設業協会

平成 2 1 年 1 2 月 7 日
国土交通省東北地方整備局

建設業と地域の元気回復助成事業 第 2 次募集結果東北ブロックの主な代表事例

【福島県】

「くら再生による活力ある地域創生事業」

(社)福島県建設業協会、(社)福島県建設業協会喜多方支部、
喜多方市建設業組合、(社)福島県建築士会喜多方支部、喜多方市、喜多方蔵の会、
会津北方小田付郷町衆会、喜多方観光協会、会津喜多方商工会議所、
福島県立喜多方商業高等学校、福島県立喜多方工業高等学校

<概要> 喜多方市内の建設産業が、商業、観光協会、教育機関等と連携し、自然・歴史・文化等の豊富な地域資源を活かすため、「まちセンター」を立ち上げ、蔵の再生を通して地域活性化を図り、さらに、観光産業への新たなビジネスモデルを構築するための調査研究及び実証事業を行う。

<主な事業内容>

- ・蔵の保存、利活用、町並み整備や地域資源の有効活用方策等について、建設業、商業、観光協会、教育機関等の役割を調査・分析
- ・建設業の知識・技術・建設機材等を活用した低コスト・効率的な手法による蔵再生、施設の維持、蔵の利活用方策の検討
- ・蔵補修による一棟貸し事業、蔵を利用した宿泊施設等のビジネスモデルの検証
- ・建設産業による「まちセンター」(窓口機能)を創設し蔵の利活用や地域資源を活用する仕組みを構築

地域の中小・中堅建設企業が、その保有する人材、機材やノウハウ等を活用し、農業、林業、福祉、環境、観光等の異業種と連携しながら、地域の活力の向上に資する、地域の創意工夫を活かした事業を実施するに当たって、その立ち上げを支援。

